

ポリグロッツがベネッセと共同で全国の9校に 『レシピー for School』導入開始 資本業務提携に基づく取り組みの第一弾としてスタート

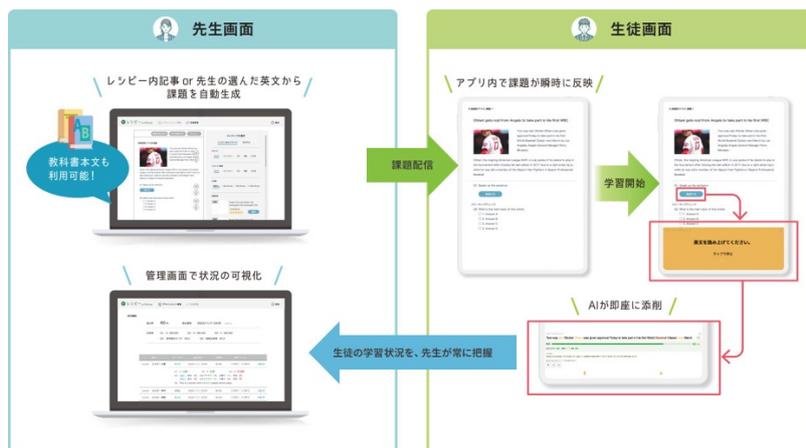
生成AIによって、ひとりひとりに最適化された英語学習プラットフォーム『レシピー』を提供する株式会社ポリグロッツ（本社：東京都新宿区、代表取締役：山口 隼也、以下「当社」）は、今月17日よりベネッセコーポレーション（以下「ベネッセ」）と共同で全国の9校に対し、学校向けのAI英語学習サービス『レシピー for School』を導入します。

今回の各校での導入は5月に当社とベネッセが締結した資本業務提携に基づく取り組みの第一弾となります。

AI英語教材『レシピー for School』とは

200万人以上が利用する英語学習アプリ『レシピー』を教育機関向けに進化させたのが『レシピー for School』です。生徒には英語の自学自走を促し、併せて先生の負担を軽減することができ、英語を教える際の課題も解決できるAI英語学習サービスです。

・スマートアサインメント機能



『レシピー for School』内の記事や動画コンテンツ、あるいは教科書や先生の選んだ記事を入力するだけで、授業や宿題に活用できる単語や内容理解の問題、ライティング・ディスカッションのトピックなどをAIが自動で生成します。この機能により、問題作成や採点、さらに生徒ごとの学習の進捗状況といった先生の負担が大幅に軽減されます。

・マイレシピ機能



AI が自動で毎日の学習カリキュラムを作成する機能です。アプリ内のレベルテストで単語、リスニング、文法、リーディング、スピーキングの各技能を 5 段階にレベル分けします。このレベルテストも AI で自動生成されます。生徒が自学自走できるようになる、AI 学習カリキュラムです。

学習コンテンツをベネッセと共同で拡充

今回、当社がベネッセと共同で『レシピー for School』を導入した学校には、『レシピー for School』内で「GTEC (※)」に対応した問題、あるいはベネッセが保有する教材を追加することで、学習コンテンツのさらなる拡充を実現しています。

※ ベネッセは 1998 年から独自の英語技能試験「GTEC」を展開してきました。「GTEC」とはベネッセが実施している英語力を絶対評価で測定するスコア型の検定で、「聞く」「話す」「読む」「書く」の 4 技能の英語力が測定可能です。

会社概要：株式会社ポリグロッツ

<https://www.polyglots.net/>

住所：東京都新宿区西新宿 6-11-3 D タワー西新宿 16F

代表取締役：山口 隼也

代表取締役・山口 隼也の略歴

九州大学原子力工学科卒。在学中はビッグデータを用いた除染シミュレーションを研究。キーエンス子会社のイプロスでは CTO（最高技術責任者）として、ビッグデータ関連のサービスを立ち上げる。英文で書かれた最新の技術文献を読みこなす英語力を身につけようと、英語学習を本格的に開始。改めて英語と格闘するなかで「『英語を聴きまくれば、何とかなる』という根性論」「退屈で画一的な学習教材」「一部の企業エリート社員しか支払えない高額な個別指導」など、日本の英語教育のさまざまな問題点を痛感。「テクノロジーの力で、ひとりひとりに最適化された最高の英語学習環境を、手頃な価格で提供したい」とポリグロッツを起業。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ポリグロッツ

担当：市村

電話：03-4361-2364

メールアドレス：ichimura@polyglots.net
